

Flebo Next

FNX0630

一括設定リファレンスマニュアル

第 5 版

2014 年 11 月

株式会社フジクラ

目次

はじめに.....	5
1. 一括設定機能とは?.....	5
2. 一括設定機能の使い方.....	6
2.1. 設定ファイルの作成方法.....	6
2.2. 一括設定の手順.....	7
3. 一括設定ファイルの構造.....	9
4. 一括設定時のエラー出力について.....	11
5. コンフィグ項目一覧.....	13
PPPOEPASS_ENABLE.....	13
IP1.....	13
GATEWAY.....	13
PPPOE_USERNAME.....	13
PPPOE_PASSWORD.....	13
PPPOE_OWN_MEMBERID.....	14
PPPOE_MEMBER_ALIAS**.....	14
PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**.....	14
RMT_CFG**_ACCEPT.....	14
PPPOE_MEMBER_ENABLE**.....	15
PPPOEPASS_COUNT.....	15
SNMP_SET_ENABLE.....	15
SNMP_RWCOMMUNITY.....	15
SNMP_GET_ENABLE.....	15
SNMP_ROCOMMUNITY.....	16
SNMP_TRAP*_ENABLE.....	16
SNMP_TRAP*_COMMUNITY.....	16
SNMP_TRAP*_IPADDRESS.....	17
SNMP_SYSCONTACT.....	17
SNMP_SYSNAME.....	17
SNMP_SYSLOCATION.....	17
SNMP_COLDSTART_ENABLE.....	17
SNMP_WARMSTART_ENABLE.....	18
SNMP_LINKUP_WAN_ENABLE.....	18
SNMP_LINKUP_LAN_ENABLE.....	18
SNMP_LINKUP_ADMIN_ENABLE.....	18
SNMP_LINKDOWN_WAN_ENABLE.....	18
SNMP_LINKDOWN_LAN_ENABLE.....	19
SNMP_PPPOEESTABLISH_ENABLE.....	19
SNMP_PPPOEFAIL_ENABLE.....	19
SNMP_EQUIPMENTFAIL_ENABLE.....	19
SNMP_VPNESTABLISH_ENABLE.....	19
SNMP_VPNFAIL_ENABLE.....	20
SNMP_REMOTE_*.....	20
SNMP_DETECTLOOP_ENABLE.....	20
SNMP_NOTDETECTLOOP_ENABLE.....	20

SNMP_V3_ROUSERNAME.....	20
SNMP_V3_RWUSERNAME.....	21
SNMP_V3_SECLEVEL.....	21
SNMP_V3_PRIV_PROTO.....	21
SNMP_V3_PRIV_PASSWD.....	21
SNMP_V3_AUTH_PROTO.....	21
SNMP_V3_AUTH_PASSWD.....	22
SNMP_TRAP*_METHOD.....	22
WAN_MODE.....	22
LAN1_MODE.....	22
LAN2_MODE.....	23
LAN3_MODE.....	23
LAN4_MODE.....	23
ADMIN_MODE.....	23
WAN_MDI.....	24
LAN1_MDI.....	24
LAN2_MDI.....	24
LAN3_MDI.....	24
LAN4_MDI.....	24
ADMIN_MDI.....	25
OWN_VPN_ID.....	25
PRI_UNTAG.....	25
PRI_BACKGROUND.....	25
PRI_SPARE.....	26
PRI_BESTEFFORT.....	26
PRI_EXCELLENTEFFORT.....	26
PRI_CONTROLLEDLOAD.....	26
PRI_VIDEO.....	27
PRI_VOICE.....	27
PRI_NETWORKCONTROL.....	27
WAN_BANDWIDTH.....	27
KEEP_ALIVE_TIME.....	28
SELECT_MTU.....	28
LOOP_DETECT_ENABLE.....	28
DMZ_IP.....	28
DMZ_NETMASK.....	29
DMZ_GATEWAY.....	29
IPSEC_ENABLE.....	29
IPV6PASS_ENABLE.....	29
PING_ENABLE.....	30
PING_IPADDRESS*.....	30
TCP_MSS_MODE.....	30
DMZ_TO_LAN.....	30
NTP_ENABLE.....	30
NTP_DOMAIN_NAME.....	31
NTP_TIME.....	31
DNS_PRI_SERVER.....	31
DNS_SEC_SERVER.....	31
SYSLOG_ENABLE.....	31
SYSLOG_DOMAIN_NAME.....	31
user_password.....	32
user_2_password.....	32

コンフィグ項目 索引 (アルファベット順) 33

はじめに

本書では、管理用 GUI からテキストファイルを読み込んで装置の設定を行なう「一括設定」機能について解説します。

このマニュアルは、FNX0630 システムバージョン V4.0.4 以降について説明したものです。

1. 一括設定機能とは？

一括設定機能とは、FNX0630 の各種設定を記述した設定ファイルをあらかじめ用意しておき、それを GUI 画面（または、USB メモリによるコマンド実行）から読み込ませることで、装置内の全ての設定項目について一度に値を設定する機能です。

これにより、GUI により 1 項目ごと設定を変えていく方法に加え、全てのコンフィグ項目を一度に変える事が可能になり、設置時の設定作業が短時間で可能になります。

また、全設定記録で PC 上に保存した設定ファイルをそのまま読み込むことができますので、あらかじめ保存しておいた設定ファイルを使い、全く同じ設定を別の装置に移植することができます。

また、一括設定ファイルはテキスト形式で、簡単にカスタマイズができます。装置ごとに設定が異なる項目（例えば自拠点 ID、PPPoE のユーザ ID 等）だけをテキストエディタで編集し(*1)、一括設定機能で装置に設定することで、複数の機器の初期設定を簡単に行うことができます。

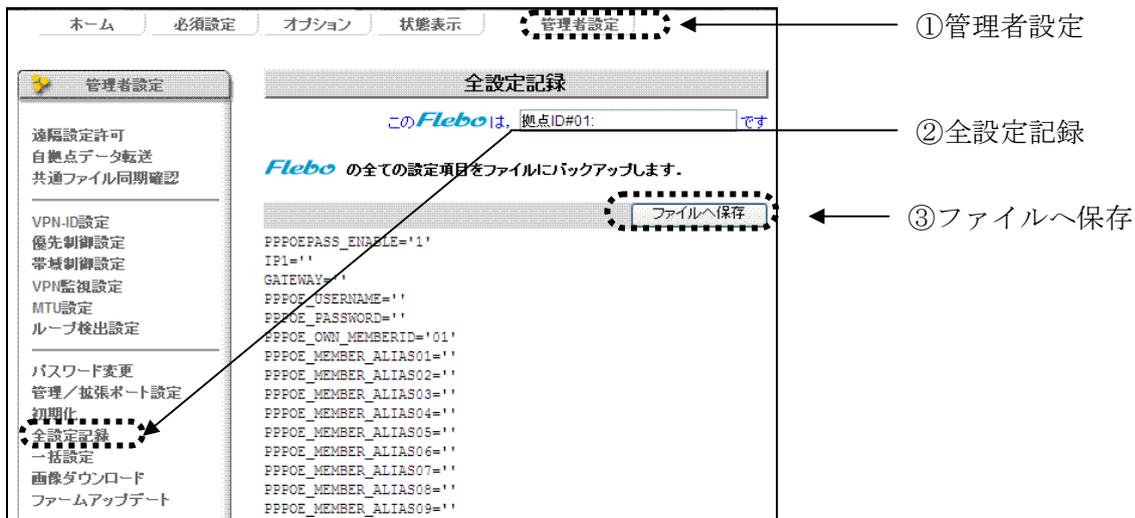
*1 設定項目の内、Web ヘログインするためのパスワードについては暗号化されているため編集できません。詳しくは 5 項コンフィグ項目の user_password、user_2_password を参照してください。

2. 一括設定機能の使い方

2.1. 設定ファイルの作成方法

一括設定で読み込ませる一括設定ファイルは全設定記録で保存されるファイルと同一形式になっています。初めに実際の装置を用い、GUI 設定画面から「管理者設定」－「全設定記録」を行い、設定ファイルを PC 上に保存します。このファイルを一括設定用の設定ファイルの雛形としてご使用できます。

- 一括設定ファイルの作成手順
- ①: 管理者設定を押して下さい。
 - ②: 全設定記録を押して下さい。
 - ③: [ファイルへ保存]ボタンを押して下さい。



上記の手順で作成した一括設定ファイルは、テキスト形式になっていますので、メモ帳などテキストエディタを使って内容を確認したり、編集したりすることができます。

一括設定ファイルを編集する場合は、本マニュアルをよく読み、内容を充分ご理解いただいた上で変更してください。

また一括設定で読み込みできるファイル名には以下の制限があります。

下記条件以外のファイル名に変更しますと、読み込み時にエラーとなりますのでご注意ください。

- ・一括設定ファイル名の先頭は、config_all でなければいけません。
- ・一括設定ファイルの拡張子は .dat または .txt でなければいけません。

例) config_all_Flebo-Next.dat

また一括設定ファイルの漢字コードは Shift-JIS でなければいけません。

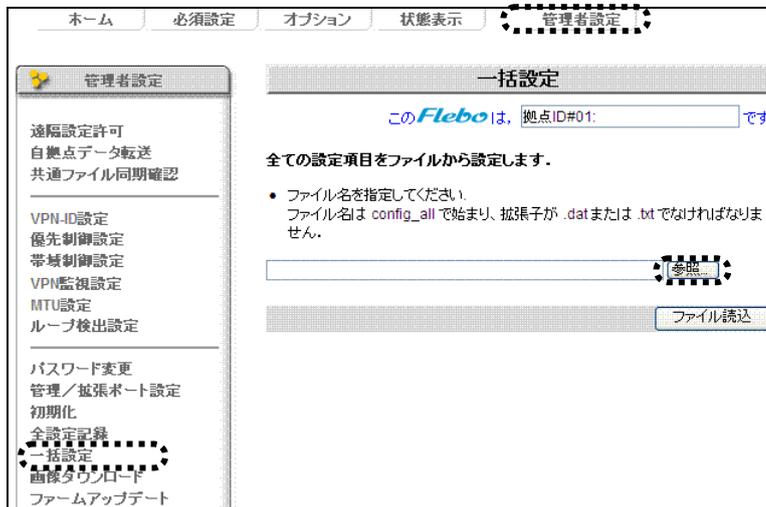
全設定記録で保存したファイルは、この Shift-JIS になっています。これ以外のコードを使用した場合、拠点名称等で漢字等が使われている場合に、正しく読み込みができませんのでご注意ください。

2.2. 一括設定の手順

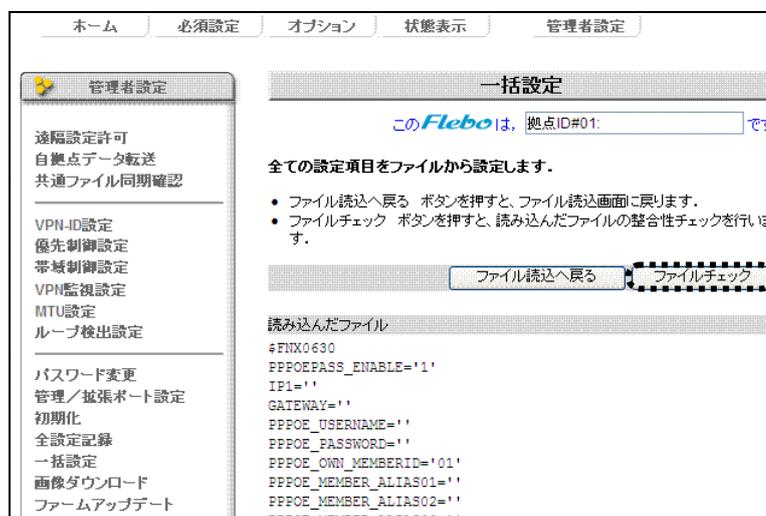
一括設定は以下の手順で行います。

①一括設定ファイルの読み込み

GUI 画面の「管理者設定」 - 「一括設定」を選択し、一括設定ページを開きます。



ここで[参照]ボタンを押し、PC 上に保存してある一括設定ファイルを指定し、つづいて[ファイル読み込み]ボタンでファイルを読み込みます。



読み込んだファイルの内容が表示されますので、指定した一括設定ファイルに間違いがないことを確認してください。

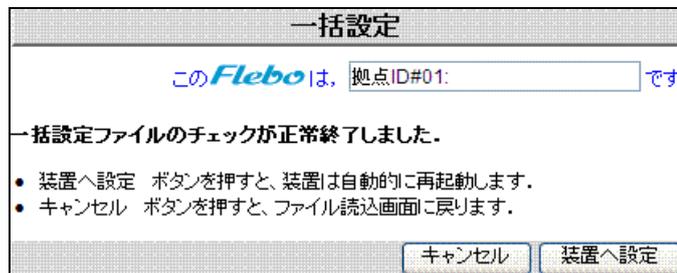
②一括設定ファイルの正常性チェック

[ファイルチェック]ボタンを押すと、設定値が範囲内かどうかなど、読み込んだファイルの正常性をチェックします。

③ファイルチェック結果の表示と装置への反映

(1) ファイルチェック正常終了の場合

読み込んだ一括設定ファイルに問題が無く、ファイルチェックが正常終了すると、以下画面が表示されます。



ここで[装置へ設定]ボタンを押すと、読み込んだ設定を装置に反映させます。

[キャンセル]ボタンを押すと、今までの一括設定の作業が取り消され、ファイル選択画面へ戻ります。

[装置へ設定]ボタンを押すと、装置は自動的に再起動します。

再起動が終了するまで、電源を抜かないで下さい。



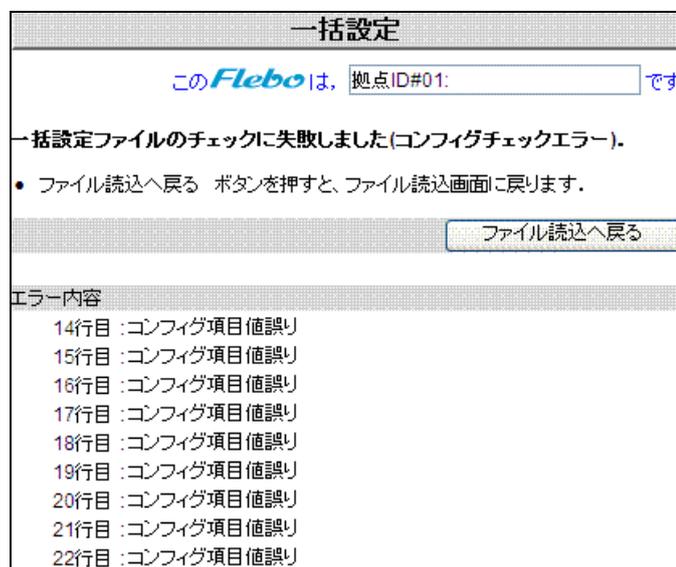
注意

またファイルチェックが完了した状態で、[キャンセル]または[装置へ設定]ボタンを押さなかった場合、一括設定以外の GUI 画面からの各種設定変更ができません。

必ず[キャンセル]または[装置へ設定]ボタンを押し、一括設定作業を中止または完了してください。

(2) ファイルチェックでエラーを検出した場合

ファイルチェック時に、一括設定ファイルに誤りを検知すると、以下エラー画面が表示されます。



一括設定ファイルを確認し、誤りを正してからもう一度読み込み、[ファイルチェック]を行って下さい。エラー内容の詳細は4項、各コンフィグ項目の意味や設定値の範囲など詳細は5項を参照してください。

3. 一括設定ファイルの構造

ここでは一括設定ファイルの構造について説明します。

一括設定ファイルを編集してお使いになる場合は、本項を良く読んで内容を理解した上で行って下さい。

全設定記録で保存したファイルをメモ帳などのテキストエディタで開いてください。

全設定記録で保存した設定ファイルの例

```

config_all.dat - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
$FNX0630
#-----
# 拠点ID=01
# 拠点名称=
#-----
# MACアドレス=00:40:41:F0:02:03
# シリアル番号=SN****
# システムバージョン=V*,*.*-*****
#-----
# 取得日時=2010年08月25日 09:16
#-----
PPPOEPASS_ENABLE='1'
IP1=''
GATEWAY=''
PPPOE_USERNAME=''
PPPOE_PASSWORD=''
PPPOE_OWN_MEMBERID='01'
PPPOE_MEMBER_ALIAS01=''
PPPOE_MEMBER_ALIAS02=''
PPPOE_MEMBER_ALIAS03=''
PPPOE_MEMBER_ALIAS04=''
PPPOE_MEMBER_ALIAS05=''
PPPOE_MEMBER_ALIAS06=''
PPPOE_MEMBER_ALIAS07=''
PPPOE_MEMBER_ALIAS08=''
PPPOE_MEMBER_ALIAS09=''

```

機種コード

- ・全設定記録をした機種を示します。
- ・一括設定する対象機種と一致している必要があります。

ヘッダー部

- ・全設定記録を行なった装置に関する情報です。
- ・コメント行なので、一括設定時には意味を持ちません。

コンフィグ部

- ・設定値を指定します。

全設定記録で保存したファイルの先頭には、Flebo シリーズのどの機種の設定ファイルかを示す、機種コードが記録されています。一括設定時にはこの機種コードが本体の機種と一致していなければいけません。サポートしている機種コードは以下の3種類のみです。

```

$FNX0630    .... FNX0630 Flebo Next (本機種)
$FNX0610    .... FNX0610 Flebo
$FNX0620    .... FNX0620 Flebo ひかり

```

2行目から11行目までは、全設定記録を行った装置に関する情報が記録されたヘッダー一部です。

ヘッダー一部は # で始まるコメント行で、一括設定時には意味を持たず、装置には反映されません。

ヘッダー部下の「PPPOEPASS_ENABLE=」以下の行が、実際に設定情報を記録したコンフィグ部です。

コンフィグ部は以下のような書式になっています。

コンフィグ項目=' 設定値'

左辺の「コンフィグ項目」と右辺の「設定値」とを=(イコール)で結ぶ形式です。

「設定値」の前後は ' (シングルコーテーション)で括られていなければいけません。

(1) コンフィグ項目

本装置の各種設定項目を識別するための、あらかじめ決められた文字列です。
半角の、アルファベット・数字および _ (アンダースコア) で構成されています。
アルファベットは user_password、user_2_password 以外は全て大文字を用いています。

後述するコメント行以外の各行の先頭は、コンフィグ項目で始まります。
行の先頭がコンフィグ項目で無い場合、エラーと判断し、一括設定ができません。
コンフィグ項目は装置によりあらかじめ決められており、変更することはできません。
それぞれのコンフィグ項目の意味については、5項を参照してください。

全設定記録で保存した設定ファイルには、装置が必要とする全てのコンフィグ項目が含まれていますが、一括設定時には、設定値を変更する必要があるコンフィグ項目だけがあれば問題ありません。
一括設定ファイルにコンフィグ項目自体が含まれていない場合は、そのコンフィグ項目は装置内設定のままで変更されません。

(2) 設定値

各コンフィグ項目に設定する値を指定します。コンフィグ項目により設定値は数字であったり、文字列であったりします。

設定値はその前後を必ず ' (シングルコーテーション) で括られていなければいけません。

また、設定値の中に上記の括りとは別の ' (シングルコーテーション) や " (ダブルコーテーション) が含まれてはいけません。

各設定値の範囲・使用してよい文字の種類などは、5項を参照してください。

設定値が5項の内容以外の場合、正常に動作しない場合があります。

(3) コメント行

設定ファイル中にはコメントを記述することも可能です。

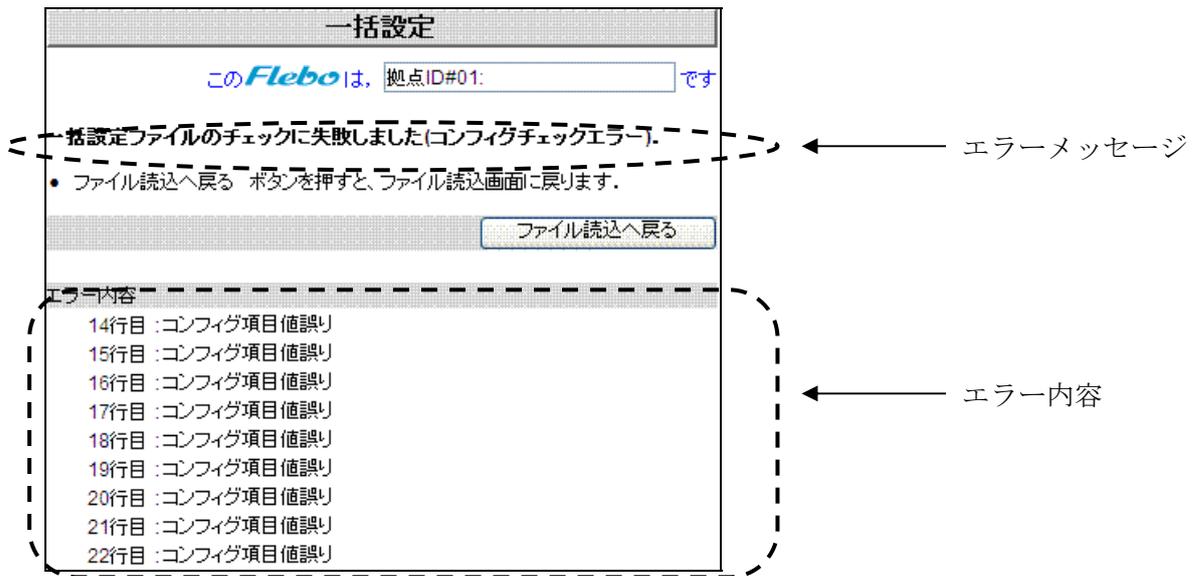
行の先頭が # で始まる場合、その行はコメント行として認識されます。

コメント行は # を含めて最大文字数は半角英数記号 510 文字 (全角文字 254 文字以下) で、それ以上長いコメントを記述する場合は複数行に分けて、それぞれの行の先頭に # を入れてください。

逆に、行の先頭に # がない行は全てコンフィグ項目として解釈されるため、コンフィグ項目と一致しない文字列などが入っている場合は、読み込み時にエラーとなります。

4. 一括設定時のエラー出力について

一括設定メニューでファイルを読み込み、[ファイルチェック]を行ったとき、一括設定ファイルに誤りがあると下記エラー画面が表示されます。

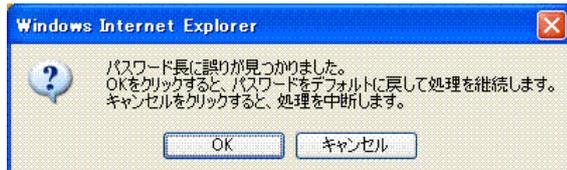


以下の表を参照して、エラーごとに適切な対処を行ってください。

エラーメッセージ	エラー内容	対処
一括設定ファイルの チェックに失敗しました (コンフィグチェックエ ラー)。	フォーマット誤 り	コンフィグ行の形式が正しくないことを示します。以下の原因が考 えられます。 ・「コンフィグ項目」と「設定値」の間の=(イコール)がない。 ・「設定値」の前後が ` シングルコーテーションで括られていない。 ・上記とは別の ` (シングルコーテーション)や ` ` (ダブルコーテーシ ョン)が含まれている。 ・「コンフィグ項目」以外の文字列が記述されている。 上記のような誤りがないか、一括設定ファイルを確認してください。
	コンフィグ項目 重複	同じコンフィグ項目が複数書かれていることを示します。2箇所 に同じコンフィグ項目があった場合、例えば設定値が同じであってもエ ラーになります。エラーで指定された行を確認し、同じコンフィグ項 目が他に含まれていないか確認し、1つだけになるよう一括設定フ ァイルを修正してください。
	コンフィグ項目 値誤り	コンフィグ項目に対する設定値に誤りがあります。例えば、 ・設定値の取り得る範囲を超えている。 ・数字で設定する項目に数字以外の文字が入っている。 ・文字列の長さ制限に違反している。 ・使ってはいけない文字を使っている。 上記のような設定値を指定していないか確認してください。
	コンフィグ整合 性誤り(コンフ ィグ項目間の 整合誤り)	コンフィグ項目間の整合性に矛盾があることを示します。例えば、 ・機能を無効に設定したコンフィグ項目に対するパラメータが設定 されている。 コンフィグ項目間で矛盾の無い設定に修正してください。
	コンフィグ整合 性誤り(IP アド レス重複)	以下のコンフィグ項目で同じ IP アドレスを指定している事を示し ます。各コンフィグ項目で重複しないアドレスを指定して下さい。 SNMP_TRAP*_IPADDRESS DMZ_IP DMZ_GATEWAY PING_IPADDRESS*

エラーメッセージ	エラー内容	対処
一括設定ファイルのチェックに失敗しました(アクセスエラー)。	表示なし	一括設定ファイルの読み込みでエラーが発生したことを示します。ファイル選択に戻って、もう一度読み込みを行ってください。
一括設定ファイルで機種 の識別ができません。	表示なし	一括設定ファイルの先頭に機種名が記録されていない場合に表示されます。一括設定ファイルの先頭には必ず機種コード \$FNX0630 を書いてください。

※Flebo、Flebo ひかりで保存したパスワードが存在していた場合、上記のエラー画面の前に下記のメッセージ画面が表示されます。



5. コンフィグ項目一覧

ここでは各コンフィグ項目の意味と、設定値について解説します。

設定ファイルを編集する際は、本項を良く読んで内容を理解してから行って下さい。

PPPOEPASS_ENABLE

PPPoE パススルー機能の有効/無効を設定します。

PPPoE パススルーを有効にすると LAN へ接続した PC・ルータなどからインターネットへ接続することができます。

- ・ PPPoE パススルーを有効にする '1'
- ・ PPPoE パススルーを無効にする '0'

設定例: '0' (PPPoE パススルーを無効にする)

初期値: '1'

【関連 GUI メニュー】 オプション-PPPoE パススルー設定

IP1

自装置に払い出される IP アドレスを示します。

実際に PPPoE で接続をした時点で網から払い出された IP アドレスに上書きされます。

PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** (「**」は自拠点 ID) の指定値と同じ値にする必要があります。

PPPOE_MEMBER_ENABLE** (「**」は自拠点 ID) も指定する場合は、'0' を指定する必要があります。

GATEWAY

PPPoE で接続した相手の IP アドレスを示します。

実際に PPPoE で接続した時点で網から通知されたサーバ側の IP アドレスに上書きされます。

PPPOE_USERNAME

フレッツに接続するためのユーザ ID を指定します。

- ・ ユーザ ID は、契約書類を参照してください。
ユーザ ID は契約書類に記載のユーザ ID@グループ ID になります。
- ・ ユーザ ID に 2 個以上の「@」、および以下の文字の使用はできません。
#, ¥, \$, ' (シングルコーテーション), " (ダブルコーテーション), 半角スペース
- ・ その他の文字についてはネットワークサービスの制限を確認してください。

設定例: 'user01@abcd. efgh'

初期値: '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定-PPPoE 設定

PPPOE_PASSWORD

フレッツに接続するためのパスワードを指定します。

- ・ パスワードは、契約書類を参照してください。
- ・ パスワードに、以下の文字は使用できません。
#, ¥, \$, @, ' (シングルコーテーション), " (ダブルコーテーション), 半角スペース
- ・ その他の文字についてはネットワークサービスの制限を確認してください。

設定例: 'user01'

初期値: '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定-PPPoE 設定

PPPOE_OWN_MEMBERID

自拠点の拠点 ID を指定します。

設定値は半角の数字、範囲は 1~30 で指定してください。

設定例： '20'

初期値： '01'

【関連 GUI メニュー】 必須設定－拠点設定

PPPOE_MEMBER_ALIAS**

拠点 ID**の拠点名称を指定します。

コンフィグ項目の**には、01~30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。

拠点名称は相手拠点の識別を容易にするために使用するもので、未設定でも動作に影響はありません。

本項目は PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** と対になる設定項目で、本項目を設定しても PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**に IP アドレスが指定されていない場合、「コンフィグ整合性誤り」のエラーになります。

設定値は全角 8 文字、半角英数記号 16 文字以内で指定してください。

禁止文字 ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション)

設定例： '大阪'

初期値： '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定－VPN 設定

PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**

拠点 ID**の払出 IP アドレスを指定します。

コンフィグ項目の**には、01~30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。

接続しない拠点については、本項目は'' (設定値なし) にしてください。本項目に IP アドレスが設定されている場合、その対向拠点は VPN 監視対象になります。

本項目は PPPOE_MEMBER_ALIAS** と対になる設定項目ですが、本項目のみ設定して PPPOE_MEMBER_ALIAS**に拠点名称が設定されていない場合でも設定は有効になります。

「**」が自拠点 ID と等しいものは、IP1 と同じアドレスが記述されている必要があります。

IP アドレスの指定がない場合 ('' (設定なし) や '0.0.0.0' 等) には、PPPOE_MEMBER_ENABLE**(「**」が等しい) を '0' に指定する必要があります。

設定例： '10.1.2.3'

初期値： '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定－VPN 設定

RMT_CFG**_ACCEPT

拠点 ID**からの設定変更を許可するかどうかを示します。

コンフィグ項目の**には、01~30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。

設定値は '0' または '1' で指定してください。

- ・設定変更を許可する場合は '1'
- ・設定変更を許可しない場合は '0' を設定します。

センタ拠点のように他の拠点から設定を変更されたくない拠点の場合、'0' を指定してください。

設定例： '0'

初期値： '1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－遠隔設定許可

PPPOE_MEMBER_ENABLE**

対向拠点との VPN 監視の警報を発出するか抑止するかを指定します。

コンフィグ項目の**には、01～30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。

設定値は '0' または '1' で指定してください。

「**」が自拠点 ID と等しいものは設定値を '0' で指定してください。

設定値が '1' の場合、PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** (「**」が等しい) が指定されている必要があります。

- ・VPN 警報を抑止する '1'
- ・VPN 警報を発出する '0'

設定例: '1' (VPN 警報を抑止)

初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】 必須設定－VPN 設定

PPPOEPASS_COUNT

PPPoE パススルーを有効 (PPPOEPASS_ENABLE='1') の場合に、LAN 配下で同時に PPPoE パススルー可能な PPPoE 端末の数を指定します。

指定可能値は、1～4 の範囲です。

設定例: '4' (PPPoE パススルー端末を 4 台まで接続可能)

初期値: '1'

【関連 GUI メニュー】 オプション－PPPoE パススルー設定

SNMP_SET_ENABLE

SNMP マネージャからの SET 要求を受け付けるか否かを設定します。

- ・SET 要求を受け付ける場合 '1'
- ・SET 要求を受け付けない場合 '0'

設定例: '1' (要求を受け付ける)

初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－SNMP 設定

SNMP_RWCOMMUNITY

SNMP マネージャからの SET 要求フレームを受け取るかどうかを判断するためのコミュニティ名を指定します。

コミュニティ名は半角英数記号 1 文字以上 32 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

SNMP マネージャ側が SET 要求に付与したコミュニティ名が、ここで指定したコミュニティ名と一致した場合、その SET 要求を受け取り処理します。コミュニティ名が一致しない場合は SNMP マネージャに対しエラーを返し、SET 要求は反映されません。

コミュニティ名は SNMP マネージャ側の設定と一致するように設定してください。

前記 SNMP_SET_ENABLE が '0' の (SET 要求を受け取らない) 場合、本設定項目は意味を持ちません。

設定例: 'rw_password'

初期値: 'private'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－SNMP 設定

SNMP_GET_ENABLE

SNMP マネージャからの GET 要求を受け付けるか否かを設定します。

- ・GET 要求を受け付ける場合 '1'
- ・GET 要求を受け付けない場合 '0'

設定例: '1' (要求を受け付ける)

初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－SNMP 設定

SNMP_ROCOMMUNITY

SNMP マネージャからの GET 要求フレームを受け取るかどうかを判断するためのコミュニティ名を指定します。

コミュニティ名は半角英数記号 1 文字以上 32 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

SNMP マネージャ側が GET 要求に付与したコミュニティ名が、ここで指定したコミュニティ名と一致した場合、その GET 要求を受け取り処理します。コミュニティ名が一致しない場合は SNMP マネージャに対しエラーを返し、GET 要求は処理されません。

コミュニティ名は SNMP マネージャ側の設定と一致するように設定してください。

前記 SNMP_GET_ENABLE が '0' の (GET 要求を受け取らない) 場合、本設定項目は意味を持ちません。

設定例: 'ro_password'

初期値: 'public'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－SNMP 設定

SNMP_TRAP*_ENABLE

SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

SNMP トラップの送信先は 2 つまで登録できます。

コンフィグ項目内の*には、1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。

- ・ SNMP トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ SNMP トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

2 つのトラップ送信先はそれぞれ独立に有効/無効を設定できます。

また、トラップの種別ごとにも有効/無効を設定できます。

【関連項目】 SNMP_TRAP*_IPADDRESS

本項目を無効で指定する場合は、SNMP_TRAP_IPADDRESS は' ' (指定値なし) にしてください。

本項目を有効で指定する場合は、SNMP_TRAP_IPADDRESS に正しいトラップ送信先アドレスが指定されている必要があります。SNMP_TRAP_IPADDRESS に誤ったトラップ送信先アドレスが指定された場合、「コンフィグ整合性誤り」のエラーになります。

設定例: '1' (トラップ送信有効)

初期値: '0' (トラップ送信無効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－SNMP 設定

SNMP_TRAP*_COMMUNITY

SNMP トラップを送信する際のコミュニティ名を指定します。

2 つの SNMP トラップ送信先に対応し、本設定も 2 つまで登録できます。

コンフィグ項目内の*には、1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。

コミュニティ名は半角英数記号 1 文字以上 32 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: 'trap_password'

初期値: 'public'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－SNMP 設定

SNMP_TRAP*_IPADDRESS

SNMP トラップの送信先 IP アドレスを指定します。

SNMP トラップの送信先は2つまで登録できます。

コンフィグ項目内の*には、1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。

ここで指定された IP アドレスに対し、トラップが送信されます。

2 つのトラップ送信先はそれぞれ独立に有効/無効を設定できます。

また本項目は以下の IP アドレス設定値と重複しない値を設定して下さい。

DMZ_IP

DMZ_GATEWAY

PING_IPADDRESS*

【関連項目】 SNMP_TRAP*_ENABLE

SNMP_TRAP*_ENABLE 項目が無効で指定されている場合は、本項目は' ' (指定値なし) にしてください。

設定例: ' 172.16.200.10'

初期値: ' ' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_SYSCONTACT

RFC1213 (MIB-II) で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysContact の値を指定します。

本設定項目は半角英数記号 255 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: ' admin'

初期値: ' root@'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_SYSNAME

RFC1213 (MIB-II) で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysName の値を指定します。

本設定項目は半角英数記号 255 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: ' Flebo-Next'

初期値: ' FNX0630'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_SYSLOCATION

RFC1213 (MIB-II) で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysLocation の値を指定します。

本設定項目は半角英数記号 255 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: ' 5F-WEST'

初期値: ' unknown'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_COLDSTART_ENABLE

SNMP の ColdStart トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ ColdStart トラップの送信を有効にする場合 ' 1'
- ・ ColdStart トラップの送信を無効にする場合 ' 0' を指定します。

【関連項目】 SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが ' 1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: ' 0' (トラップ送信無効)

初期値: ' 1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_WARMSTART_ENABLE

SNMP の WarmStart トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ WarmStart トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ WarmStart トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_LINKUP_WAN_ENABLE

WAN ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_LINKUP_LAN_ENABLE

LAN1~4 ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_LINKUP_ADMIN_ENABLE

管理/拡張ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_LINKDOWN_WAN_ENABLE

WAN ポートのリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_LINKDOWN_LAN_ENABLE

LAN1～4 ポートのリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_PPPOESTABLISH_ENABLE

PPPoE セッションの確立を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_PPPOEFAIL_ENABLE

PPPoE セッションダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_EQUIPMENTFAIL_ENABLE

装置故障を検出したことを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_VPNESTABLISH_ENABLE

対向拠点との VPN 確立を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_VPNFAIL_ENABLE

対向拠点との VPN 障害発生を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_REMOTE_*

設定しても無効です。

コンフィグ項目内の*には、'LINKUP_LAN_ENABLE'、'LINKUP_ADMIN_ENABLE'、'LINKDOWN_LAN_ENABLE'、'LINKDOWN_ADMIN_ENABLE' および 'EQUIPMENTFAIL_ENABLE' のいずれかが入ります。

初期値: '0' (トラップ送信無効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_DETECTLOOP_ENABLE

ループ検知を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_NOTDETECTLOOP_ENABLE

ループ解消を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_V3_ROUSERNAME

SNMPv3 を使用する場合は GET 要求フレームを受け取るかどうかを判断するためのコミュニティ名を指定します。

コミュニティ名は半角英数記号 1 文字以上 32 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

SNMPv3 マネージャ側が GET 要求に付与したコミュニティ名が、ここで指定したコミュニティ名と一致した場合、その GET 要求を受けとり処理します。コミュニティ名が一致しない場合は SNMPv3 マネージャに対しエラーを返し、GET 要求は処理されません。

コミュニティ名は SNMPv3 マネージャ側の設定と一致するように設定してください。

設定例: 'v3_ro_password'

初期値: ''

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_V3_RWUSERNAME

SNMPv3 を使用する場合は SET 要求フレームを受け取るかどうかを判断するためのコミュニティ名を指定します。

コミュニティ名は半角英数記号 1 文字以上 32 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

SNMPv3 マネージャ側が GET 要求に付与したコミュニティ名が、ここで指定したコミュニティ名と一致した場合、その SET 要求を受けとり処理します。コミュニティ名が一致しない場合は SNMPv3 マネージャに対しエラーを返し、SET 要求は処理されません。

コミュニティ名は SNMPv3 マネージャ側の設定と一致するように設定してください。

設定例: 'v3rwpasswd'

初期値: ''

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_V3_SECLEVEL

SNMPv3 を使用する場合はセキュリティレベルを指定します。

- ・ 認証無し、暗号無しにする場合 '1'
- ・ 認証有り、暗号無しにする場合 '2'
- ・ 認証有り、暗号有りにする場合 '3'

設定例: '2' (認証有り、暗号無し)

初期値: '1' (認証無し、暗号無し)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_V3_PRIV_PROTO

SNMPv3 を使用する場合は暗号方式を指定します。

- ・ DES にする場合 '0'
- ・ AES にする場合 '1'

設定例: '1' (AES)

初期値: '0' (DES)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_V3_PRIV_PASSWD

SNMPv3 を使用する場合は暗号パスワードを指定します。

パスワードは半角英数記号 8 文字以上 32 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: 'nextpasswd'

初期値: 'f1ebonext'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_V3_AUTH_PROTO

SNMPv3 を使用する場合は認証方式を指定します。

- ・ MD5 にする場合 '0'
- ・ SHA-1 にする場合 '1'

設定例: '0' (MD5)

初期値: '1' (SHA-1)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SNMP 設定

SNMP_V3_AUTH_PASSWD

SNMPv3 を使用する場合の認証パスワードを指定します。

パスワードは半角英数記号 8 文字以上 32 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例 : 'nextpasswd'

初期値 : 'flebonext'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－SNMP 設定

SNMP_TRAP*_METHOD

SNMPv1/v2c/v3 を使用する場合の通知種別を指定します。

コンフィグ項目内の*には、1 もしくは 2 が入り、2 つの通知種別を識別します。

- ・SNMPv1 Trap にする場合 '0'
- ・SNMPv2c Trap にする場合 '1'
- ・SNMPv3 Trap にする場合 '2'
- ・SNMPv2c inform にする場合 '3'
- ・SNMPv3 inform にする場合 '4'

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例 : '1' (SNMPv2c)

初期値 : '0' (SNMPv1)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－SNMP 設定

WAN_MODE

WAN ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~5 で指定します。

- ・自動 (Auto-Negotiation) '0'
- ・100M - 全二重 '1'
- ・100M - 半二重 '2'
- ・10M - 全二重 '3'
- ・10M - 半二重 '4'
- ・1G - 全二重 '5'

設定例 : '1' (100M 全二重固定)

初期値 : '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－イーサポート設定

LAN1_MODE

LAN1 ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~5 で指定します。

- ・自動 (Auto-Negotiation) '0'
- ・100M - 全二重 '1'
- ・100M - 半二重 '2'
- ・10M - 全二重 '3'
- ・10M - 半二重 '4'
- ・1G - 全二重 '5'

設定例 : '1' (100M 全二重固定)

初期値 : '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定－イーサポート設定

LAN2_MODE

LAN2 ポートの通信モードを指定します。
設定値は 0~5 で指定します。

- ・ 自動 (Auto-Negotiation) '0'
 - ・ 100M - 全二重 '1'
 - ・ 100M - 半二重 '2'
 - ・ 10M - 全二重 '3'
 - ・ 10M - 半二重 '4'
 - ・ 1G - 全二重 '5'
- 設定例: '1' (100M 全二重固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

LAN3_MODE

LAN3 ポートの通信モードを指定します。
設定値は 0~5 で指定します。

- ・ 自動 (Auto-Negotiation) '0'
 - ・ 100M - 全二重 '1'
 - ・ 100M - 半二重 '2'
 - ・ 10M - 全二重 '3'
 - ・ 10M - 半二重 '4'
 - ・ 1G - 全二重 '5'
- 設定例: '1' (100M 全二重固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

LAN4_MODE

LAN4 ポートの通信モードを指定します。
設定値は 0~5 で指定します。

- ・ 自動 (Auto-Negotiation) '0'
 - ・ 100M - 全二重 '1'
 - ・ 100M - 半二重 '2'
 - ・ 10M - 全二重 '3'
 - ・ 10M - 半二重 '4'
 - ・ 1G - 全二重 '5'
- 設定例: '1' (100M 全二重固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

ADMIN_MODE

管理/拡張ポートの通信モードを指定します。
設定値は 0~5 で指定します。

- ・ 自動 (Auto-Negotiation) '0'
 - ・ 100M - 全二重 '1'
 - ・ 100M - 半二重 '2'
 - ・ 10M - 全二重 '3'
 - ・ 10M - 半二重 '4'
 - ・ 1G - 全二重 '5'
- 設定例: '1' (100M 全二重固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

WAN_MDI

WAN ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は'0'または'1'で指定します。

- ・自動 (AutoMDI/MDI-X) '0'
 - ・ストレート (MDI) 固定 '1' (HUB とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDI 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

LAN1_MDI

LAN1 ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は'0'または'1'で指定します。

- ・自動 (AutoMDI/MDI-X) '0'
 - ・クロス (MDI-X) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDI-X 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

LAN2_MDI

LAN2 ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は'0'または'1'で指定します。

- ・自動 (AutoMDI/MDI-X) '0'
 - ・クロス (MDI-X) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDI-X 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

LAN3_MDI

LAN3 ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は'0'または'1'で指定します。

- ・自動 (AutoMDI/MDI-X) '0'
 - ・クロス (MDI-X) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDI-X 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

LAN4_MDI

LAN4 ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は'0'または'1'で指定します。

- ・自動 (AutoMDI/MDI-X) '0'
 - ・クロス (MDI-X) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDI-X 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - イーサポート設定

ADMIN_MDI

管理/拡張ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' で指定します。

- ・ 自動 (AutoMDI/MDI-X) '0'
 - ・ クロス (MDI-X) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDI-X 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—イーサポート設定

OWN_VPN_ID

VPN を識別するための VPN-ID を指定します。

VPN-ID を設定することで、VPN 内をセグメント分けすることができます。

通常は初期値で使用します。

設定値は半角の数字、範囲は 0~65535 で指定してください。

VPN を無効にする場合は項目を削除してください。

設定例: '100'

初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定—VPN-ID 設定

PRI_UNTAG

VLAN タグが付与されていないフレームについて、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0' または '1' で指定してください。

- ・ 優先 '1'
 - ・ 非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定—優先制御設定

PRI_BACKGROUND

VLAN タグ内の user_priority が "1" であるフレームに対し、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0' または '1' で指定してください。

- ・ 優先 '1'
 - ・ 非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定—優先制御設定

PRI_SPARE

VLAN タグ内の user_priority が“2”であるフレームに対し、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

‘0’または‘1’で指定してください。

- ・ 優先 ‘1’
- ・ 非優先 ‘0’
- 設定例： ‘1’ (優先)
- 初期値： ‘0’

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－優先制御設定

PRI_BESTEFFECT

VLAN タグ内の user_priority が“0”であるフレームに対し、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

‘0’または‘1’で指定してください。

- ・ 優先 ‘1’
- ・ 非優先 ‘0’
- 設定例： ‘1’ (優先)
- 初期値： ‘0’

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－優先制御設定

PRI_EXCELLENTEFFORT

VLAN タグ内の user_priority が“3”であるフレームに対し、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

‘0’または‘1’で指定してください。

- ・ 優先 ‘1’
- ・ 非優先 ‘0’
- 設定例： ‘1’ (優先)
- 初期値： ‘0’

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－優先制御設定

PRI_CONTROLLEDLOAD

VLAN タグ内の user_priority が“4”であるフレームに対し、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

‘0’または‘1’で指定してください。

- ・ 優先 ‘1’
- ・ 非優先 ‘0’
- 設定例： ‘0’ (非優先)
- 初期値： ‘1’

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－優先制御設定

PRI_VIDEO

VLAN タグ内の user_priority が“5”であるフレームに対し、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

‘0’または‘1’で指定してください。

- ・ 優先 ‘1’
 - ・ 非優先 ‘0’
- 設定例： ‘0’ (非優先)
初期値： ‘1’

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－優先制御設定

PRI_VOICE

VLAN タグ内の user_priority が“6”であるフレームに対し、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

‘0’または‘1’で指定してください。

- ・ 優先 ‘1’
 - ・ 非優先 ‘0’
- 設定例： ‘0’ (非優先)
初期値： ‘1’

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－優先制御設定

PRI_NETWORKCONTROL

VLAN タグ内の user_priority が“7”であるフレームに対し、LAN→WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切替スイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

‘0’または‘1’で指定してください。

- ・ 優先 ‘1’
 - ・ 非優先 ‘0’
- 設定例： ‘0’ (非優先)
初期値： ‘1’

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－優先制御設定

WAN_BANDWIDTH

LAN→WAN 転送時の帯域制御の値を指定します。

ADSL など WAN 回線の帯域が狭いときに設定すると、優先制御機能が効果的に動作します。

設定値は半角の数字または文字列‘無制限’で指定してください。

指定できる値は以下の通りです。これ以外の値は設定できません。

0.3, 0.5, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100,
200, 300, 400, 500, 600, 700, 800, 900, 無制限 (Mb/s)

設定例： ‘10’ (10Mb/s)

初期値： ‘無制限’

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－帯域制御設定

KEEP_ALIVE_TIME

VPN を構成している Flebo シリーズの装置間で VPN 状態を監視する間隔を指定します。
WAN 回線の帯域が狭く、VPN ランプが頻繁に点灯・点滅する場合は監視間隔を大きくすると有効な場合があります。

設定値は半角の数字で指定してください。

指定できる値は以下の 3 通りです。これ以外の値は設定できません。

2, 4, 8 (秒)

設定例: '8' (8 秒)

初期値: '2'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－VPN 監視設定

SELECT_MTU

WAN ポートの MTU サイズを指定します。

通常は初期値でご使用ください。

設定値の指定は以下の 3 種類から選択してください。これ以外の値は設定できません。

MTU1, MTU2, MTU3

それぞれの設定値と WAN 側へ送信する IP データグラムのサイズは以下の通りです。

光プレミアム回線をお使いの場合、MTU1 または MTU2 を指定してください。

MTU1 --- 1188Byte

MTU2 --- 1364Byte

MTU3 --- 1454Byte

設定例: 'MTU1' (1188Byte)

初期値: 'MTU3'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－MTU 設定

LOOP_DETECT_ENABLE

ループ検出機能の有効・無効を指定します。

本装置では入力フレームの送信元 MAC アドレスを監視してループを検出・遮断します。

ループ検出機能の初期値は有効になっています。

特殊なプロトコルなどでこの機能を使用しない場合は“無効”に設定してください。

・ループ検出機能を有効にする '1'

・ループ検出機能を無効にする '0'

設定例: '0' (ループ検出無効)

初期値: '1' (ループ検出有効)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－ループ検出設定

DMZ_IP

管理/拡張ポートの IP アドレスを指定します。

管理用ネットワークのアドレス体系に合わせ、他の装置と重複しない IP アドレスを設定して下さい。

また本項目は以下の IP アドレス設定値と重複しない値を設定して下さい。

DMZ_GATEWAY

SNMP_TRAP*_IPADDRESS

PING_IPADDRESS*

設定例: '172.16.100.1'

初期値: '192.168.0.1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－管理/拡張ポート設定

DMZ_NETMASK

管理/拡張ポートのサブネットマスクを指定します。

管理用ネットワークのアドレス体系に合わせ、サブネットマスクを設定して下さい。

設定例： '255.255.0.0'

初期値： '255.255.255.0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－管理/拡張ポート設定

DMZ_GATEWAY

管理/拡張ポートのデフォルトゲートウェイを指定します。

デフォルトゲートウェイは管理/拡張ポートと同じネットワークアドレスで無ければいけません。

お使いの管理用ネットワークに実在するルータの IP アドレスを設定して下さい。

全ての管理用端末が同じサブネットに属す場合は、本項目は設定の必要がありません。

また本項目は以下の IP アドレス設定値と重複しない値を設定して下さい。

DMZ_IP

SNMP_TRAP*_IPADDRESS

PING_IPADDRESS*

設定例： '192.168.0.100'

初期値： ''

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－管理/拡張ポート設定

IPSEC_ENABLE

VPN 通信を暗号化するかどうかを指定します。

設定値は '0' または '3' で指定してください。

- ・暗号化する '3'
- ・暗号化しない '0'

どちらを選択する場合も同一 VPN 内の他の FNX0630/FNX0620 と同じ設定にする必要があります。

他の FNX0630/FNX0620 と暗号設定が食い違っている場合、VPN 通信はできません。

VPN 内の FNX0610/FNX0660 とは、自動判別して暗号化なしで通信します。

設定例： '3' (暗号化する)

初期値： '0' (暗号化しない)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定－暗号化設定

IPV6PASS_ENABLE

ユーザネットワークの IPv6 パケットの扱いを設定します。IPv6 パススルーを有効にすると、LAN ポートからの IPv6 パケットをカプセル化せずにそのまま WAN へ転送します。IPv6 パススルーを無効にすると、IPv6 パケットはカプセル化して VPN 通信として WAN へ転送します。

- ・IPv6 フレームをパススルーする '1'
- ・IPv6 フレームをパススルーしない '0'

設定例： '1' (パススルーする)

初期値： '0' (パススルーしない)

【関連 GUI メニュー】 オプション－IPv6 パススルー設定

PING_ENABLE

WAN ポートへの Ping リクエスト応答機能の有効・無効を設定します。

設定値は '0' または '1' で指定してください。

- ・ 応答する '1'
- ・ 応答しない '0'

本項目を '1' (応答する) に設定した場合、関連する PING_IPADDRESS* に、Ping リクエストに응答する監視元の IP アドレスを設定して下さい。

指定されていない IP アドレスからの Ping リクエストには応答しません。

設定例: '1' (Ping リクエストに응答する)

初期値: '0' (応答しない)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 導通確認

PING_IPADDRESS*

WAN ポートへの Ping リクエストに응答する監視元の IP アドレスを設定します。

コンフィグ項目の*には、1~4 までの数字が入り番号を表しています。

本項目は PING_ENABLE='1' の時だけ有効です。

また本項目には以下の IP アドレス設定値と重複しない値を設定して下さい。

DMZ_IP

DMZ_GATEWAY

SNMP_TRAP*_IPADDRESS

設定例: '10.1.1.100'

初期値: '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 導通確認

TCP_MSS_MODE

TCP-MSS 値を自動的に書換える・書換えないを指定します。

- ・ 自動的に書換える '1'
- ・ 自動的に書換えない '0'

設定例: '0' (自動的に書換えない)

初期値: '1' (自動的に書換える)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - MTU 設定

DMZ_TO_LAN

管理/拡張ポートを LAN5 ポートとして使用する・使用しないを指定します。

- ・ LAN5 ポートとして使用する '1'
- ・ LAN5 ポートとして使用しない '0'

設定例: '1' (LAN5 ポートとして使用する)

初期値: '0' (LAN5 ポートとして使用しない)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 管理/拡張ポート設定

NTP_ENABLE

NTP (Network Time Protocol) を使用する・使用しないを指定します。

- ・ NTP を使用しない '0'
- ・ NTP を使用する '1'

設定例: '1' (NTP を使用する)

初期値: '0' (NTP を使用しない)

【関連 GUI メニュー】 オプション - NTP 設定

NTP_DOMAIN_NAME

NTP(Network Time Protocol)のドメイン名または IP アドレスを指定します。

ドメイン名は、半角英数 255 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例 : 'abcd.co.jp'

設定例 : '10.4.25.78'

初期値 : ''

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—NTP 設定

NTP_TIME

NTP(Network Time Protocol)の問い合わせ時刻を指定します。

'00:00' ~ '23:59' を指定して下さい。

設定例 : '10:00'

初期値 : '00:00'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—NTP 設定

DNS_PRI_SERVER

DNS(Domain Name System)のプライマリサーバの IP アドレスを指定します。

設定例 : '172.16.200.10'

初期値 : '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—DNS 設定

DNS_SEC_SERVER

DNS(Domain Name System)のセカンダリサーバの IP アドレスを指定します。

設定例 : '172.16.200.11'

初期値 : '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—DNS 設定

SYSLOG_ENABLE

SYSLOG を使用する・使用しないを指定します。

・SYSLOG を使用しない '0'

・SYSLOG を使用する '1'

設定例 : '1' (SYSLOG を使用する)

初期値 : '0' (SYSLOG を使用しない)

【関連 GUI メニュー】 オプション—SYSLOG 設定

SYSLOG_DOMAIN_NAME

SYSLOG のドメイン名または IP アドレスを指定します。

ドメイン名は、半角英数 255 文字以内で指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例 : 'abcd.co.jp'

設定例 : '10.4.25.78'

初期値 : ''

【関連 GUI メニュー】 オプション設定—SYSLOG 設定

user_password

一般ユーザ (user) のパスワードを指定します。

設定値は暗号化されていますので、本項目はエディタ等で編集しないでください。

エディタ等で編集したパスワードを一括設定した場合、Web へのログインができなくなります。

誤ってパスワードを変更した場合、装置底面の DIP スイッチにより、パスワードおよび管理/拡張ポートのネットワーク設定を初期化できます。詳しくはユーザマニュアルをご確認ください。

本装置の GUI からパスワードを設定し、全設定記録した時の文字列をそのままご使用いただくか、本コンフィグ項目を項目ごと削除してから一括設定を行ってください。コンフィグ項目を削除した場合は、パスワードは変更されません。

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - パスワード変更

user_2_password

管理者 (admin) のパスワードを指定します。

設定値は暗号化されていますので、本項目はエディタ等で編集しないでください。

エディタ等で編集したパスワードを一括設定した場合、Web へのログインができなくなります。

誤ってパスワードを変更した場合、装置底面の DIP スイッチにより、パスワードおよび管理/拡張ポートのネットワーク設定を初期化できます。詳しくはユーザマニュアルをご確認ください。

本装置の GUI からパスワードを設定し、全設定記録した時の文字列をそのままご使用いただくか、本コンフィグ項目を項目ごと削除してから一括設定を行ってください。コンフィグ項目を削除した場合は、パスワードは変更されません。

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - パスワード変更

コンフィグ項目 索引 (アルファベット順)

A

ADMIN_MDI	25
ADMIN_MODE.....	23

D

DMZ_GATEWAY.....	29
DMZ_IP.....	28
DMZ_NETMASK.....	29
DMZ_TO_LAN.....	30
DNS_PRI_SERVER	31
DNS_SEC_SERVER	31

G

GATEWAY	13
---------------	----

I

IP1	13
IPSEC_ENABLE	29
IPV6PASS_ENABLE.....	29

K

KEEP_ALIVE_TIME.....	28
----------------------	----

L

LAN1_MDI	24
LAN1_MODE	22
LAN2_MDI	24
LAN2_MODE	23
LAN3_MDI	24
LAN3_MODE	23
LAN4_MDI	24
LAN4_MODE	23
LOOP_DETECT_ENABLE	28

N

NTP_DOMAIN_NAME.....	31
NTP_ENABLE.....	30
NTP_TIME	31

O

OWN_VPN_ID.....	25
-----------------	----

P

PING_ENABLE.....	30
PING_IPADDRESS*.....	30
PPPOE_MEMBER_ALIAS**.....	14
PPPOE_MEMBER_ENABLE**.....	15
PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**	14
PPPOE_OWN_MEMBERID	14
PPPOE_PASSWORD	13
PPPOE_USERNAME	13
PPPOEPASS_COUNT.....	15
PPPOEPASS_ENABLE.....	13
PRI_BACKGROUND	25
PRI_BESTEFFORT	26
PRI_CONTROLLEDLOAD	26
PRI_EXCELLENTEFFORT	26
PRI_NETWORKCONTROL	27
PRI_SPARE	26
PRI_UNTAG	25
PRI_VIDEO	27
PRI_VOICE	27

R

RMT_CFG**_ACCEPT.....	14
-----------------------	----

S

SELECT_MTU.....	28
SNMP_COLDSTART_ENABLE.....	17
SNMP_DETECTLOOP_ENABLE	20
SNMP_EQUIPMENTFAIL_ENABLE	19
SNMP_GET_ENABLE.....	15
SNMP_LINKDOWN_LAN_ENABLE	19
SNMP_LINKDOWN_WAN_ENABLE	18
SNMP_LINKUP_ADMIN_ENABLE	18
SNMP_LINKUP_LAN_ENABLE	18

SNMP_LINKUP_WAN_ENABLE.....	18	SNMP_V3_ROUSERNAME.....	20
SNMP_NOTDETECTLOOP_ENABLE.....	20	SNMP_V3_RWUSERNAME.....	21
SNMP_PPPOEESTABLISH_ENABLE.....	19	SNMP_V3_SECLEVEL.....	21
SNMP_PPPOEFAIL_ENABLE.....	19	SNMP_VPNESTABLISH_ENABLE.....	19
SNMP_REMOTE_*.....	20	SNMP_VPNFAIL_ENABLE.....	20
SNMP_ROCOMMUNITY.....	16	SNMP_WARMSTART_ENABLE.....	18
SNMP_RWCOMMUNITY.....	15	SYSLOG_DOMAIN_NAME.....	31
SNMP_SET_ENABLE.....	15	SYSLOG_ENABLE.....	31
SNMP_SYSCONTACT.....	17		
SNMP_SYSLOCATION.....	17	<i>T</i>	
SNMP_SYSNAME.....	17	TCP_MSS_MODE.....	30
SNMP_TRAP*_COMMUNITY.....	16		
SNMP_TRAP*_ENABLE.....	16	<i>U</i>	
SNMP_TRAP*_IPADDRESS.....	17	user_2_password.....	32
SNMP_TRAP*_METHOD.....	22	user_password.....	32
SNMP_V3_AUTH_PASSWD.....	22		
SNMP_V3_AUTH_PROTO.....	21	<i>W</i>	
SNMP_V3_PRIV_PASSWD.....	21	WAN_BANDWIDTH.....	27
SNMP_V3_PRIV_PROTO.....	21	WAN_MDI.....	24
		WAN_MODE.....	22